

きりゅう

平成19年8月1日

市議会だより

No.206



楽しい砂遊び（黒保根保育園）

平成19年第2回定例会は、6月11日(月)に招集され、6月26日(火)までの16日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長提出議案12件の審議を行い、11件を可決、1件を否決しました。

また、議員提出議案9件の審議も行い、4件を可決、5件を否決しました。

主な掲載記事

- 一般質問を21議員が行う……………2~5
- 飲酒運転根絶に関する決議……………6
- 意見書2件を可決……………7
- 特別委員会を設置……………8
- 議員の寄附行為などは禁止されています……8

一般質問

六月二十一日（金）・二十五日（月）・二十六日（火）の三日間にわたり、二十一人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたる問題について、市当局の見解を求めました。



子育て支援

質問 全国的に子育て世帯優待事業が注目を浴びて（子育て支援センター）

答弁 いるが、このサービスに対する桐生市の考え方はどうなのか。

事業は、全国的には県単位で事業を実施している。群馬県でも平成十九年度事業として「子育て応援プレミアムカード」の名目で検討中のことである。桐生市としても、子育て世帯を支援する有効な事業であると認識しているので、事業実施局を中心に研究を深めたいと考えている。

選挙公報の発行	
質問 群馬県内十二市における選挙公報の発行状況と、桐生市が選挙公報を発行しなかつた理由は何か。	答弁 県内において、選挙公報を発行していない市は、安中市と桐生市の二市となっている。選挙公報の発行については、平成十五年から検討を続けており、
	が短いことを考慮して発行を見送った。ただし、次回の選挙においては選挙公報を発行したい。



（期日前投票）

藪塚インターへのアクセス

質問 （仮称）藪塚インターへのアクセス道として、（中通り大橋線の橋脚）

答弁 中通り大橋線、桐生大橋線が位置付けられているが、市外の対応はどうか。

ルートの必要性は明確になつていたが、合併に伴い改めて太田市に位置付けを願いしている。桐生大橋線の延伸部分は、県道桐生伊勢崎線の阿左美バイパスとして県事業により着手され、平成二十四年度を目途に整備を進めており、（仮称）藪塚インターから県道桐生伊勢崎線までの拡幅整備は、今年度末には暫定二車線での開通が予定されている。



質問者

森	大彦	（愛・桐生）
山	一俊	（クラブ21）
田	島	（愛・桐生）
相	井	（日本共産党）
小	福	（愛・桐生）
周	笠	（愛・桐生）
近	田	（公明クラブ）
星	相	（愛・桐生）
西	小	（友・桐生）
福	野	（愛・桐生）
細	田	（愛・桐生）
岡	谷	（友・桐生）
庭	部	（愛・桐生）
小	山	（薰・桐生）
石	滝	（ラブ21）
津	井	（友・桐生）
寺	久	（日本共産党）
中	口	（公明クラブ）
	田	（日本共産党）

厚生病院の医師不足

(桐生厚生病院)



厚生病院の医師不足

質問 厚生病院の神経内科、脳神経外科の現状はどう

(桐生厚生病院)

うか。今後の医師確保や医師会との連携はどうか。

答弁 神経内科は週一回午前中のみ非常勤医師による予約制の診療を行っており、脳神経外科は医師間の協力のもと三人で診療にあたっている。また、桐生市医師会とは定期的に病診連携会議を開催して連携を図っているとのことである。

なお、医師の確保は全国的な問題であり、全国市長会を通じ医師偏在解消などの要望を行っているが、奨学金制度導入の要望も検討していくたい。

質問 厚生病院における休止診療科利用者への対策と医師や看護師確保への桐生市の取り組みはどうか。

答弁 院内医師の協力体制を整え対応を図っているが、専門的な治療を必要とする患者には近隣の専門医を紹介するなど、治療に支障をきたさぬよう配慮していることである。一次救急医療の充実により、二次救急医療指定病院である厚生病院などの医療従事者の労働状況が改善されるこ



一人暮らし高齢者対策

(高齢福祉課)

質問 市営住宅の連帯保証人

市営住宅の連帯保証人

質問 市営住宅入居決定者の連帯保証人一人のうち一人を市内在住とした理由は何か。また、みどり市在住者も市内在住と同様の資格要件とならないか。

答弁 連帯保証人は、入居者の一切の責めについて連帯保証の責めを負うものとなつており、一人を市内に住所を有する者と定めた理由は、入居者に対する相談や緊急時に連絡が容易なことが主な要因である。なお、みどり市在住者も市内

とは、医師や看護師の確保にもつながることから、一次と二次の病診連携について広く周知していきたい。



(仮称)保健センター

(市役所)

質問 市長のマニフェストの中での建設の是非を含めて見直しを進める」としているが、前期の市議会で決定した事業を市長一人がくつかえすことをどう考えているのか。なぜ、この時期に見直しなのか。

質問 平成十八年度から県立普通高校の全県一区制度導入に伴い、桐生市在住生徒の入学者数に変化が生じたか。また、今後の進路指導をどう考えているのか



答弁 (仮称)保健センターの建設は合併関連事業であり、継続費予算として市議会で可決されたことは十分承知しているが、新たに市民から付託を受けた市長として、市民の声を聞く中

で、今この時期に必要な施設かどうか、規模や内容も含め、改めて総合的に判断したいと思っている。

答弁 高校入試の全県一区制度導入に伴い、普通高校において受験地域が広域化し、桐生市でも変化が見られる。桐生高校では市内在住の入学者は、平成十六年度は五十三・二パーセントから平成十八年度は三十三・六パーセントとなつた。



高校入試

このため、今回の受験結果を踏まえて調査し、進路指導を適切に行い、生徒、保護者の不安解消に努めたい。

(市内の県立高校)

保育園の民間移譲

質問 公立保育園の人員体制や老朽化などの問題、

(市内の保育園)



道路整備

質問 川内町から青葉台に抜ける道路や、川内町名久木地区から梅田町に抜ける道路などについて整備する予定はあるのか。

答弁　川内町から境町の青葉台に抜ける市道は、幅員が狭く急勾配な道路で、通行上危険があるため、昭和六十年より車両を通行止めにしており、整備には膨大な工事費を要するため、検討していきたい。また、名久木地区から梅田町に抜ける道路は、林道として計

民間移譲についてどう考えているのか。

答弁 旧桐生市内の公立三園の人事体制は臨時職員も含めているが、人事担当課と協議し、より良い職員体制を目指したい。また、公立保育園の老朽化などの問題は、補修か所の把握に努めて周辺事情などを精査し検討したい。なお、民間移譲を当分の間見合わせることについては、保育園のあるべき姿や保育環境の充実に向けて関係者との話し合いをさらに深め、再度判断することを考えている。

下水道普及

(境野水処理センター)

質問 市内各地区の下水道普及率の現状と今後の方

針及び財源のねん出はどうなつてゐるか。

答弁 平成十八年度末の
桐生市の下水道普及率は七
十五・三パーセントであり
地区ごとでは、川内地区約
二十六パーセント、梅田地
区約九十一パーセント、菱
地区約九十パーセント、広
沢地区約九十三パーセント
相生地区約七十六パーセン
トとなっている。下水道整
備は、国の補助金や起債、

(仮称)保健センター

質問（仮称）保健センタ一の建設について、限りな

(市役所)

く中止の方向とした理由は何か。また、予定地は将来を見据えればみどり市との合併後の保健事業の拠点となる重要な位置ではないか。

受益者負担金などを財源に
毎年工事を進めており、今
後も普及率の向上を目指し
て鋭意努力していきたい。



グラウンドゴルフ場

質問 常設のグラウンド
ゴルフ場のある県内自治体

はどこか、また桐生市の競
技、山はぎーのい。



大川美術館

質問 大川美術館収蔵品の管理や目録はどうなつて

(大川美術館)

いるのか。また、桐生市から補助金の目的は何か。
答弁 大川美術館の美術作品の管理は、個別の作品台帳が作成され、データベ

いるのか。また、桐生市からの補助金の目的は何か。
答弁 大川美術館の美術作品の管理は、個別の作品台帳が作成され、データベース化により管理が行われており、全収蔵作品の目録の作成は、今年度末を目途に図版による目録の整備が行われている。なお、桐生市から大川美術館への補助金は、管理運営について支援して桐生市の文化振興の推進を図ることを目的とし、毎年補助金の実績報告時に事業報告や決算報告など内容を精査している。

「ゴルフは、高齢者の健康づくりのために適したスポーツであるので、機会を捉え支援していきたい。」

学校適正規模・適正配置

(昭和中学校)

質問 幼稚園、小学校、中学校の適正規模・適正配置はどのように計画されたのか。

答弁

幼稚園の計画は少子化時代における幼児教育を考える会に諮問し、平成十八年十一月に答申を受け、実施について検討している。小学校及び中学校の計画は、平成二年四月作成の第三次総合計画で研究を進めることが必要とされ、平成十三年四月作成の第四次総合計画で適正配置につ



保険証の取り上げ

質問 国保税滞納に関するご質問です。国保税滞納に関わらず、いども医療費の無料

(保険年金課)

化は無条件に行うべきであり、六十五歳以上の低所得者や低所得世帯にも国保保険証は交付すべきでないか。

答弁

いども医療費の無料化については、各関係部署と検討していきたい。また、資格証明書の交付は、各対象者の納税相談を行ながり判断しているが、一年間の滞納で判断するのではなく、納税相談において何度も担税力を押し計り、また苦しい事情も聞き、納税相談を重ねながら行つており、今後も各対象者の状況を把握し対応していきたい。



妊娠無料健康診査

質問 子供を生み、育てやすいまちづくりをするの

(離乳食講習)

化は無条件に行うべきであり、六十五歳以上の低所得者や低所得世帯にも国保保険証は交付すべきでないか。

答弁

いども医療費の無料化については、各関係部署と検討していきたい。また、資格証明書の交付は、各対象者の納税相談を行ながり判断しているが、一年間の滞納で判断するのではなく、納税相談において何度も担税力を押し計り、また苦しい事情も聞き、納税相談を重ねながら行つており、今後も各対象者の状況を把握し対応していきたい。

多重債務者救済

(無料法律相談所)

質問 多重債務者に対する相談の職員対応及びチラシや広報の宣伝効果についてどのように行うのか。

答弁

現在、債務整理方法の指導や過払金返還請求などに対する助言や法律的な対応として、桐生市の無料法律相談のほか、弁護士会や司法書士会を紹介している。また、多重債務者救済に対応するための実務に役立つ職員研修の充実が喫緊の課題であり、関係部局と連携しながら対応したい。



市民が主役の政治

質問 市民が主役の市政実現について、どのようなことをするのか。

(市役所)

あるなら、平成二十年度からの妊娠無料健康診査について公費負担を五回とすることはできないか。

答弁

厚生労働省から通知があり、妊娠無料健康診査を含めた少子化対策について総額で拡充の措置がされ、最低限五回程度の公費負担が望ましいとは承知している。桐生市では他市に先駆け三枚の受診票を交付していたが、「子育て日本一のまちを目指す」ため、平成二十年度に向けて妊婦の経済的負担軽減と少子化対策に努力していく。

子育て都市桐生の実現

(市役所)

質問 日本一の子育て都市の実現に向け、どのように志と施策があるのか。

答弁

明日を担う人材を育成することが今後を左右する重要な課題と認識し、市民一人一人の子育てに対する意識の醸成を図ることにより実現を目指したい。

具体的な支援策としては児童手当の増額など、現状の児童手当と併せながら対象となる児童の範囲を検討し、医療面からは未就学児を対象とした乳幼児医療助成の



生版網の日トーク」を実施して、より多くの市民の声を行政に反映させたいと考えている。

(市役所)

対象範囲の拡大を進めたいと考えてあり、財源など実施に向けて関係部署と協議を行い、早急に検討したい。

決

議

この定例会では、次のとおり決議案が議員より提出され、全員賛成で可決しました。

飲酒運転根絶に関する決議

交通事故のない、安全で安心して暮らせる社会の実現は、市民全ての切実な願いである。

しかしながら、全国的には飲酒運転による危険性や違法性が再三にわたって指摘されているにもかかわらず、依然として、飲酒運転による痛ましい交通事故が相次いで発生し、まことに憂慮すべき事態となっている。

飲酒運転の根絶には、運転者が飲酒運転の違法性、事故発生の危険性、事故による責任の重大性を認識することはもとより、家庭、地域、職場などにおいて飲酒運転を許さない環境作りが必要不可欠であることから、市民が一丸となって飲酒運転の根絶に向けた機運を高めることが求められる。

よって、桐生市議会は、ここに改めて交通安全意識の徹底を強く呼びかけると共に、市当局をはじめ関係機関、団体と連携を強化し、市民と一体となった飲酒運転根絶を強力に推進するものである。

以上、決議する。

平成19年6月22日

桐生市議会

請願の審査結果

この定例会では、請願4件の審査を行いました。その結果、2件は採択、2件は閉会中の継続審査となりました。

○採択となった請願

付託委員会	受理番号	件名
産業経済委員会	第1号	日豪EPA・FTA交渉に対する請願
教育民生委員会	第3号	「義務教育費国庫負担制度に関する意見書」提出についての請願

○閉会中の継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
産業経済委員会	第2号	「最低賃金の改善を求める意見書」提出についての請願
教育民生委員会	第4号	後期高齢者医療保険制度の大幅見直しを求める請願

市長の退職手当の特例に関する条例案

原案可決

徹底した行財政の効率化を行うという観点から、市长の退職手当について、百分の五十を減額しようとするとするもの。

概要

財産取得（水槽付消防ポンプ自動車）について

新市建設計画に基づき、消防団用車両を計画的に更新し、消防体制の充実強化を図るため、消防団第七分団、第十一分団及び第十五

原案可決

消防団用車両を計画的に更新し、消防体制の充実強化を図るため、消防団第七分団、第十一分団及び第十五

●主な議案●

お知らせ

◆次回定例会の開催予定は
9月3日(月)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部（要旨）を掲載しています。

詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。平成19年第2回定例会の会議録は、9月上旬からご覧になれます。

なお、会議録は桐生市ホームページでもご覧いただけます。

議会運営委員会の委員定数を十人から十一人に改めました。新しい委員は次とおりです。	議会運営委員会の定数変更
（委員）西牧秀乗	

桐生市立学校設置条例の一部を改正する条例案

分団用として、水槽付消防ポンプ自動車三台を購入しようとするもの。

桐生市立学校設置条例の一部を改正する条例案

西中学校、南中学校及び昭和中学校を平成二十年四月一日に統合し、中央中学校とするため、条例中の表を改正しようとするもの。

原案可決

意見書

この定例会では、次の意見書案2件を可決し、内閣総理大臣ほかに送付しました。

日豪EPA(経済連携協定)・FTA(自由貿易協定)交渉に対する意見書

本年から開始するとされている日豪EPA・FTA交渉に対し、オーストラリア政府は、農産物も含む関税撤廃を強く主張するとみられています。オーストラリア政府の要求どおり、農産物の輸入関税が全面的に撤廃されるようなことになれば、政府試算でも、肉牛、酪農、小麦、砂糖の主要4分野において約8,000億円もの打撃を受け、関連産業や地域経済への影響を含めると2兆から3兆円規模になるとされています。

また、食料自給率は30%台に低下するなど日本の農業と食料は壊滅的な打撃を受けることとなり、農林業の持つ他面的機能が失われ、農山村の崩壊、国土の荒廃、環境の悪化などを招くことになります。

さらに、昨年、干ばつによって大減産となったように、オーストラリアの農業生産条件は極めて不安定であり、これに安易に依存することは世界的な食糧不足、危機が心配されている中で、日本

の食料安全保障を危うくする結果を招きかねません。

日豪EPA・FTA交渉にあたり、日本農業に多大な影響を与える重要品目を交渉から除外するなどの対策を求めます。

つきましては、下記事項の実現に向け対策を講じるよう要請します。

記

- 1 日豪EPA・FTA交渉にあたっては、米、小麦、牛肉、乳製品などの農林水産物の重要品目を除外するよう粘り強く交渉すること。
- 2 農産物貿易交渉は、農業、農村の多面的機能の発揮と国内自給による食料安全保障の確保を基本とし、各国の多様な農業が共存できるよう貿易ルールを確立すること。

提出先 内閣総理大臣 外務大臣
 農林水産大臣

義務教育費国庫負担制度の維持に係わる意見書

義務教育費国庫負担制度については、昭和60年度予算において旅費・教材費に対する国庫負担が廃止され、一般財源化されて以来、年々その削減項目を増大させており、平成18年度からは、国の負担率が2分の1から3分の1に削減された。

義務教育費国庫負担制度は、教育の水準維持と機会均等及び地方財政の安定のため、国が必要な財源を保障するとの趣旨で確立されたものであり、これまで我が国の義務教育の水準向上に大きな役割を果たしてきたところである。この制度を縮小することは地方における義務教育に必要な財源の確保を困難にし、義務教育の地域間格差を生じさせることにつながるだけでなく、厳しい財政運営を余儀なくされている地方自治体の財政に大きな影響を与えるものであり、義務教育行政の円滑な推進に重大な影響を及ぼすものである。

よって、政府においては、義務教育の水準確保と地方教育行政の充実を図るため、義務教育費国庫負担制度の維持および国の負担率の2分の1への復元を強く要望する。

提出先 内閣総理大臣 総務大臣
 財務大臣 文部科学大臣

西岡 佐
牧部 藤
秀純 幸
乗朗 雄

農業委員会選任委員
域連合議会議員
群馬県後期高齢者医療広
(学識経験者)

佐藤 光好

森寿作 氏
(桐生市歯科医師会長)
(桐生市医師会長)

森正洋 氏
(桐生市医師会長)
(桐生市歯科医師会長)

北川洋 氏
(桐生市医師会長)
(桐生市歯科医師会長)

するもの

【議会の議員の選挙権を有するもの】

小坂河原津布庭石
滝田久山井
芳和博由秀
江平始人紀子

【議会の議員】
桐生地域医療組合議会議員
員

議会選出の各種委員などについて、推薦依頼に基づき次のとおり選出しました。

人事
案件

特/別/委/員/会/を/設/置

特別委員会設置に関する決議 3 案件が、議員より提出され、それぞれ可決し、3つの特別委員会が設置されました。

- 水質調査特別委員会設置に関する決議案
- 交通対策調査特別委員会設置に関する決議案
- 入札等調査特別委員会設置に関する決議案

水質調査特別委員会

◎調査事項

- 1 渡良瀬川及び桐生川並びに市域内河川の環境・水質保全について
- 2 山元（古河）対策について

◎委員構成

委員長	津布久博	人
副委員長	庭山由紀	
委員	田島忠一	
	星野定利	
	荒木恵朗	
	岡部純	
幾	井俊雄	
細	谷昌弘	
岡	部信一郎	
園	田恵三	

交通対策調査特別委員会

◎調査事項

- 1 幹線道路の整備について
- 2 公共交通の確保について

◎委員構成

委員長	坂田和平	子
副委員長	福田光雄	二
委員	森山享大	蔵
	笠井重俊	一
	近藤健司	文
	井田泰彦	彥
	河原井始	宣
	周東照二	雄
小	滝芳江	夫

入札等調査特別委員会

◎調査事項

- 1 入札について
- 2 競艇について
- 3 指定金融機関について

◎委員構成

委員長	石井秀子
副委員長	小野田淳二
委員	中田米子
	福島一文
	相澤崇
	周藤雅
寺	口正
佐	藤幸
閑	根幸
佐	藤光
西	牧秀

公職選挙法により 議員の寄附行為などは 禁止されています

市議会議員は公職選挙法により「政治団体や親族に対するもの」及び「政治教育集会などに関する必要やむをえない実費の補償（食事は提供できません）」を除く寄附行為などが禁止されております。また、政治家の後援団体の寄附も同様に禁止されていますので、ご理解をお願いいたします。

【禁止事項の例】

- (1) 祭りへの寄附や差し入れ
- (2) 地域の行事やスポーツ大会への飲食物の差し入れ
- (3) 町内会の集会や旅行などの催し物への寸志や飲食物の差し入れ
- (4) 各団体などからの案内（催し物、会合など）に対する寄附行為
※ただし、会員（参加者）全員が会費を負担している場合に同額を負担する場合の会費を除く
- (5) 後援団体の落成式や開店祝、葬儀の花輪、供花
- (6) 病気見舞い、新盆・新彼岸の供物（現金含む）
- (7) お中元やお歳暮
- (8) 入学祝や卒業祝
- (9) 年賀状、暑中見舞いなどの時候のあいさつ状（答礼のための自筆を除く。ワープロ、印刷したものに署名したものは自筆とは認められません。）

【認められる事項の例】

- (1) 自らが出席する結婚披露宴で、その場においてする祝儀
- (2) 自らが出席する葬式・通夜で、その場においてする香典